

2025年度業務実績報告書

提出日 2026 年 1 月 16 日

1. 職名・氏名 准教授 成田光江

2. 学位 修士、専門分野 社会福祉学、授与機関 日本福祉大学、授与年 2007

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ○地域包括支援論（1）3年生、○地域包括支援実習（2）3年生 ○地域・在宅看護学（2）2年生、○地域・在宅看護学演習（2）3年生、 ○看護マネジメント実習（2）4年生、○卒業研究（2）4年生 ○専攻科 保健看護福祉研究方法論（2）M1 ○看護学専攻科 成人慢性看護学特別研究（4）M2
②内容・ねらい ○地域包括支援論・支援実習：独自に作成した資料を用い、地域に暮らす住民の生活の継続を支える地域資源、根拠法、社会保障制度、自治体施策、多機関・多職種連携、入退院支援、在宅療養支援等を学び、チーム支援や支援における看護師の役割と機能等を理解する。実習では、上記を実践から理解するとともに、人権や尊厳を守るケアについて自己の看護観として表現できる。 ○地域・在宅看護学：独自に作成した資料を用い、療養生活の継続に必要な社会資源や各種制度を理解する。制度に基づく支援サービスを理解することができる。 ○地域・在宅看護学演習：独自に作成した資料を用い、訪問看護における多機関・多職種連携を考える。制度に基づく支援サービスを利用した模擬事例を検討することができる。 ○看護マネジメント実習：福井県内の訪問看護ステーションの管理者について同行実習する。訪問看護ステーション管理者の業務、人的管理、組織管理、多機関・多職種との連携方法を理解することができる。 ○卒業研究：4名担当。入退院支援や多職種連携に関する研究、論文作成指導。卒業後の看護研究・実践に役立つよう、学生の興味・関心に沿った研究内容となる。 ○専攻科 保健看護福祉研究方法論（オムニバス）：インタビュー調査、2コマ）：インタビュー調査の実際とデータの整理方法がわかる。 ○専攻科 特別研究：研究倫理がわかり、研究方法、調査・分析方法、論文の書き方を身につけることができる。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ○地域包括支援論・支援実習：支援論では、独自に作成した資料を用いた講義、学部講師、ワークショップなどの演習等、多様な方法で地域包括支援を理解することができるようにした。特に、個別ケア・チームケア、地域ケアの視点から支援の考え方、方法を学び、中でもチームケアにおける多機関・多職種連携の技術と、連携する地域の機関・施設、職種の専門性が理解できるよう工夫した。実習では、支援論での学びを実践から理解することで、より具体的に自ら連携することができる支援、支援に必要な人権や尊厳を守るケアについて学びが深まるよう働きかけている。 ○地域・在宅看護学・演習：看護学では、訪問看護における看護師の役割や連携方法、理解すべき制度と制度に基づくサービスを知る。演習では、模擬事例に活用することができるよう教授した。講義後に、学修内容をふまえた支援事例のレポートを課した。 ○看護マネジメント実習：訪問看護ステーションの管理者と、管理者の業務、人的管理、組織管理、多機関・多職種との連携方法が具体的に理解できるよう実習内容を調整し、実習生に説明した。 ○卒業研究：学生と研究内容を検討するとともに、入退院支援、多職種連携に関する資料の提

示、データの整理方法、分析方法を教授し、論文執筆と発表内容への助言を行った。 ○専攻科保健看護福祉研究方法論：独自に作成した資料と実践事例を用い、インタビュー調査、データの整理、分析方法を、実例を通して理解できるようにした。 ○専攻科 特別研究：修了年度。論文の執筆、発表用資料の準備について指導・助言することで理解を深め、自分でできるようにした。
(2)その他の教育活動 内容：リカレント教育 ○ハラスメントと防止策・対応に関する研修：県内の福祉職、自治体職員対象 ○福井県家族介護者等支援の説明と支援システムのつくり方に関する研修：県内の福祉職、自治体職員対象 ○多機関・多職種連携に関する研修：県内・北陸地域の医療・保健・福祉職、自治体職員対象 ○成長にあわせて必要となる発達障害児とその家族への支援に関する研修：女性財団職員、ピアサポーター対象

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
①著書 なし 【 本】
②学術論文（査読あり） なし 【 本】
③その他論文（査読なし） なし 【 本】
④学会発表等 なし 【 件】
⑤その他の公表実績 福井県立大学『研究シーズ集』、福井県立大学地域経済研究所『メールマガジン』 株式会社ぎょうせい『月刊ガバナンス』 【 3本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績 なし
(3)特許等取得 なし
(4)学会活動等 なし

5. 地域・社会貢献活動

研修や講演、勉強会、相談支援等、地域からの要請は断らないようにしている。 ○福井県家族介護者等支援事業推進事業・有識者会議：委員・議長 ○福井県家族介護者支援アドバイザー派遣事業：アドバイザー ○福井循環器病院地域医療推進委員会：委員 ○地域包括・在宅介護支援センター協議会 福井大会 第1分科会検討委員：第1分科会内容検討、第1分科会講師・助言 ○FBCTV：取材、TV出演（看護・介護・福祉施設・事業所等の経営に関する助言） ○新聞記事：県民福井・取材、新聞・Web記事掲載（2回、衆議院選挙の各党の公約に関連した全国・県内の介護に関する課題・問題、福井県内の介護に関する支援事業に関すること） ○越前市岡本地区 自治振興会：オーラルフレイルを軸とするまちづくり活動

研修・演習、講演、取材、相談支援等の実際 ※下記以外に相談支援多数実施	
1/27	福井県家族介護者等支援推進事業 有識者会議打ち合わせ
2/7	ふくい女性財団 研修打ち合わせ
2/10	福井県家族介護者等支援推進事業 有識者会議・議長
2/21	地域包括・在宅介護支援センター協議会 福井大会 第1分科会打ち合わせ 大野市地域包括ケアネットワーク勉強会 研修講師・助言
2/27	福井市いきいき会 講演
3/4	ふくい女性財団 研修講師
3/7	坂井市広域連合 ケアマネ研修会講義・演習講師
4/9	越前市岡本地区 自治振興会 まちづくり活動（定友町）
4/10	越前市岡本地区 自治振興会 まちづくり活動（岩本町）
5/14	地域包括・在宅介護支援センター協議会 福井大会 第1分科会打ち合わせ
6/6	福井県家族介護者等支援推進事業 ハラスメント研修打ち合わせ
6/16	アラジン介護者支援講演会&フォーラム 2025 講師・パネルディスカッション発表
6/25	福井循環器病院地域医療推進委員会
7/2	日刊福井 取材
7/4	福井県家族介護者等支援推進事業 アドバイザー派遣 打ち合わせ
7/16	福井県家族介護者等支援推進事業 ハラスメント研修打ち合わせ
8/7	福井県家族介護者等支援推進事業 ハラスメント研修打ち合わせ
8/13	地域包括・在宅介護支援センター協議会 福井大会 第1分科会打ち合わせ
8/21	福井県家族介護者等支援推進事業 ハラスメント研修講師
9/25	福井循環器病院地域医療推進委員会
10/1	FBC 取材
10/9	福井県家族介護者等支援推進事業 ハラスメント演習・ワークショップ講師
10/30	福井県家族介護者等支援推進事業 アドバイザー派遣 打ち合わせ
11/4	福井県家族介護者等支援推進事業 アドバイザー派遣
11/5	県内住民・相談支援 施設同行訪問（会議）
11/27	地域包括・在宅介護支援センター協議会 福井大会 第1分科会講師・助言 福井循環器病院地域医療推進委員会
12/9	ふくい女性財団 ピアサロン講師・相談支援
12/1	月刊ガバナンス発刊 執筆記事掲載
12/10	福井県家族介護者等支援推進事業 アドバイザー派遣
12/15	福井県家族介護者等支援推進事業 アドバイザー派遣
以上	
（備考：2025年度内予定）	
1月	福井県家族介護者支援事業 有識者会議打ち合わせ・有識者会議（議長）
2月	大野市地域包括ケアネットワーク勉強会 研修講師・助言

6. 大学運営への参画

(1)補職
○看護福祉学研究科 講義（M1）
○看護学研究科 兼担（修論指導）
○地域経済研究所 兼担
(2)委員会・チーム活動
○広報委員会 WG 委員
○広報誌：大学案内（補助）、大学院案内（看護学専攻担当）
○教員採用委員：急性看護学
○看護学科 副担任：3年次生（クラス会の運営、学生の個別面談・個別対応）
○看護学科 地域包括支援実習 2025年度実習施設合同指導者説明会（8月4回：Zoom開催）

(3)学内行事への参加

(4)その他、自発的活動など

○東京都・福井県内在住の住民、専門職、本学職員を対象とする相談支援：対面、電話、Zoom
による相談支援、相談者が希望する場・方法で実施している。※現在に至る

○オーラルフレイル多機関連携会議：越前市岡本地区 自治振興会 オーラルフレイルを軸と
する地域づくり活動（福井県歯科医師会、福井県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士
会、福井県栄養士会、福井県立病院）